USA's primary source for projector lamps
myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

MP514

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？
www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

FCC 注意

当機器は試験により、FCC Rule Part 15 に従い、Class B デジタル機器に対する制限に一致することが証明されています。これらの制限は、住宅での設置における有害な混信に対し合理的な保護を提供するよう設計されています。当機器は無線周波数エネルギーを造成、使用および放射するため、指示に従わない設置および使用を行った場合、無線通信に有害な混信を起こすことがあります。ですが、特定の設置により干渉が起こらないという保証はありません。本機器の電源を断続的にオンオフすることで、ラジオまたはテレビ受信に有害な干渉を引き起こす場合、ユーザーは以下の手段を 1 つ以上を用いた干渉の修正が奨励されます :

- 受信アンテナを違う方向に向けるか、または移動させてください。
- 機器と受信機の間の距離を離してください。
- 受信機が接続されたものとは異なるサーキットの差込み口に機器を接続してください。
- それでも修正されない場合は、販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者にご相談ください。

本装置は FCC Rule Part 15 に適合しています。操作は次の 2 つの条件に従います :

1. 本装置が有害な混信を引き起こすことなく、
2. 必要としない操作を引き起こす可能性のあるいずれの干渉も受け入れる必要があります。

安全指示

プロジェクタを操作する前に、後の参考としてこれらの指示をすべてお読みください。

1. 指示の参照
機器を操作する前に、すべての安全および操作指示を読む必要があります。

2. 注意と警告
操作指示におけるすべての注意および警告は必ず守ってください。

3. クリーニング
クリーニングの前に壁のコンセントからプロジェクタのプラグを抜いてください。プロジェクタハウジングの掃除いは湿らせた布を使用してください。液体またはエアゾール洗剤は使用しないでください。

4. 付属品
不安定なカート、スタンド、またはテーブルの上に当製品を置かないでください。製品が落下して、深刻な損害を引き起こすことがあります。
プロジェクタ、付属品およびオプショナル部品びプラスチック梱包材は、その袋で窒息死をもたらすことがあるため、子供の手が届かないようにしてください。小さい子供の周辺では特に注意してください。

5. 通気
プロジェクタは通気口 (取入口) および通気口 (排気口) を備えています。これらのスロットを妨げたり、ものを近くに置いたりしないでください。さもないと内部発熱性が発生し、ピクチャの悪化またはプロジェクタが損傷をもたらすことがあります。

6. 電源
本体の操作電圧が居住地域の電源電圧と同じかどうかを確認してください。

7. 整備点検
自身で当プロジェクタの調整をしようとしないでください。すべての整備点検については、資格を持った整備スタッフにお問い合わせください。

8. 交換部品
交換部品が必要な場合、交換部品が メーカー指定かどうか確認してください。不当な交換は火事、感電あるいはその他の危険をもたらすことがあります。

9. 結露
プロジェクタを寒い場所から暖かい場所へ移動させた直後の操作はお止めください。プロジェクタはそのような温度変化にさらされた場合、レンズおよび重要な内部部品に湿気が凝縮することがあります。本体を可能な損害から防ぐには、極端な、あるいは急激な温度があった際、少なくとも 2 時間はプロジェクタを使用しないでください。

目次

はじめに 4
プロジェクタの特徴 4
パッケージ内容 5
プロジェクタの概要 6

製品を使用する 8
コントロールパネル 8
接続ポート 9
リモートコントロール 10
電池を交換する 11
リモートコントロールの操作 12

インストール 13
プロジェクタを接続する 13
プロジェクタの電源をオン / オフする 14
プロジェクタを調整する 15

メニュー操作 17

メンテナンス 21
レンズのクリーニング 21
プロジェクタ・ハウジングのクリーニング 21
ランプを交換する 22

仕様 24

付録 25
LED インジケータメッセージ 25
互換モード 26
トラブルシューティング 27

はじめに

プロジェクタの特徴

高性能の光学エンジン映像とユーザーフレンドリーなデザインを統合させたプロジェクタは、高い信頼性と使いやすさを提供します。
プロジェクタは以下の特徴を提供します :

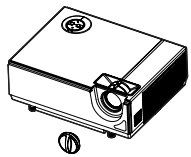
- テキサス・インストルメンツ DLP® 技術による 0.55" シングルチップ
- SVGA (800 x 600 画素)
- VGA、SVGA、XGA*、および SXGA* スケーリング圧縮互換性で、800 x 600 全画面に自動画像リサイズ (自動同期)
- Macintosh® コンピュータ互換
- NTSC、PAL、SECAM および HDTV 互換
- アナログビデオ接続用 15-Pin D サブ端子
- ユーザーフレンドリーなマルチ言語によるオンスクリーンディスプレイ
- 高度な電子キーストーン修正



** は圧縮を意味します。*

パッケージ内容

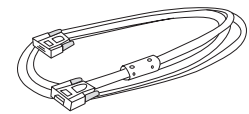
プロジェクタを開封する際は、以下の内容物がすべてあるかどうか確認してください：



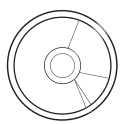
レンズキャップ付
プロジェクタ



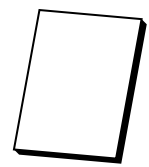
AC 電源コード



VGA ケーブル
(D サブから D サブ)



ユーザーマニュアル CD



クイックスタート ガイド



リ モート コント ロール (IR)

注意

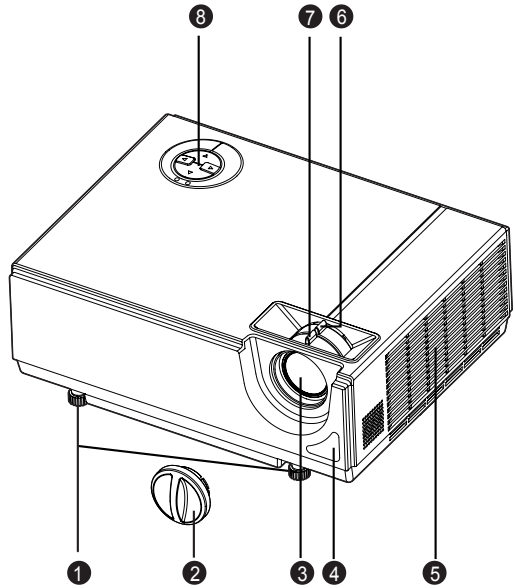
■ *いずれかの商品が入っていない、破損している、またはユニットが動作しないなどの場合は、至急代理店までご連絡ください。*

警告

- 埃っぽい環境でプロジェクタを使用しないでください。
- プロジェクタが室温に適応するまで、使用前 5-10 分間は電源ケーブルを接続したままにしてください。
- 製品が入っていた出荷用ダンボールおよび包装材は、ユニットを運ぶ際に役に立つため保存しておいてください。最大限の保護を行うため、元来工場で梱包されていた通りにユニットを再包装してください。

プロジェクタの概要

前面から見た図

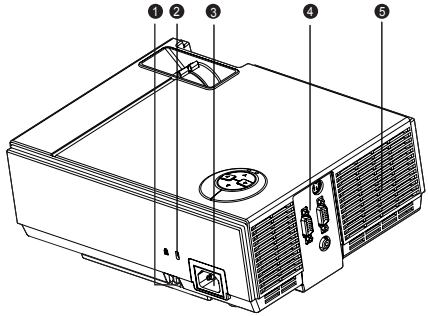


❶ 傾斜調整脚
❷ レンズキャップ
❸ 映写レンズ
❹ 前面 IR リモートコントロールセンサ
❺ 通気口 (取入口)
❻ ズームリング
❼ フォーカスリング
❽ コントロールパネル

警告

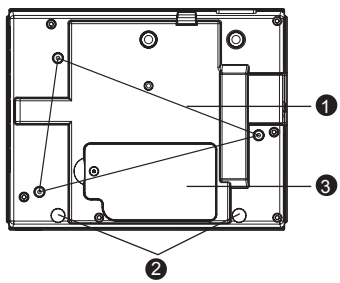
- 可能な燃焼を防止するため、プロジェクタ使用中はランプカバーと排気口に触らないでください。
- ランプ点灯中は、レンズまたは通気口を直視しないでください。強い光線により目を傷つけることがあります。
- 調整脚だけを持って、プロジェクタを運ぶようなことはしないでください。プロジェクタが落下して、破損することがあります。

背面から見た図



❶ セキュリティロック
❷ ケンジントンロック
❸ AC 電源ソケット
❹ 接続ポート
❺ 通気口 (排気口)

底部から見た図



❶ 天井マウント
❷ 傾斜調整脚
❸ ランプカバー

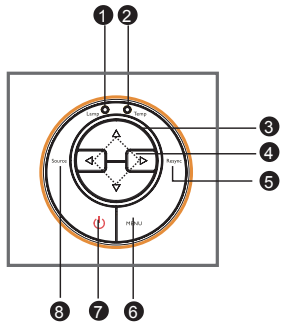
注意

■ *当プロジェクタはサポートとして天井マウントで使用することができます。天井マウントはパッケージには含まれていません。*
■ *天井へのプロジェクタ設置に関しては、販売店までお問い合わせください。*

製品を使用する

コントロールパネル

LED



❶ **Lamp** (LED ランプインジケータ)
「LED ランプインジケータのメッセージ」参照。

❷ **Temp** (LED 温度インジケータ)
「LED ランプインジケータのメッセージ」参照。

❸ **電源 LED**
「LED ランプインジケータのメッセージ」参照。

ボタン機能

❹ **4 つの方向指示ボタン**
項目の選択または選択に合わせた調整に使用します。

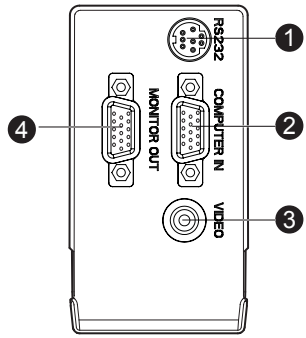
❺ **Resync**
プロジェクタをコンピュータからの入力シグナルに再同期させます。

❻ **MENU**
- オンスクリーンディスプレイメニューを表示、または終了します。
- サブメニューを開き、メニューの選択を確認します。色設定、ランプ時間リセット、および工場出荷初期値メニューの操作を起動します。

❼ ⏻ **(電源)**
プロジェクタの電源をオンまたはオフします。

❽ **Source**
手動で入力ソースを選択します。

接続ポート



❶ **RS232**
インストール制御とファームウェアのアップグレード用に保持されます。

❷ **COMPUTER IN**
画像入力シグナル (アナログ RGB またはコンポーネント) をジャックに接続します。

❸ **VIDEO**
ビデオ機器のコンポジットビデオ出力を接続します。

❹ **MONITOR OUT**
コンピュータディスプレイ等に接続します。

リモートコントロール

❶ **POWER**
プロジェクタの電源をオンまたはオフします。

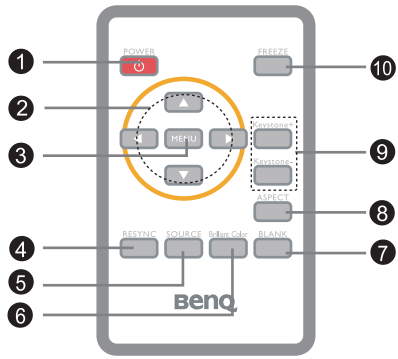
❷ **4 つの方向指示ボタン**
項目の選択または選択に合わせた調整に使用します。

❸ **MENU**
オンスクリーンディスプレイメニューを表示、または終了します。

❹ **RESYNC**
プロジェクタをコンピュータからの入力シグナルに再同期させます。

❺ **SOURCE**
手動で入力ソースを選択します。

❻ **Brilliant Color**
鮮やかな、写実的な画像に強調した色 飽和を送信する色スペクトルを産生します。ほとんどのコンピュータソースに対して起動します。



❼ **BLANK**
一時的にスクリーンを遮断します。もう一度 押すと、空白機能を取り消します。

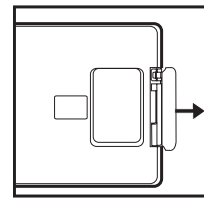
❽ **ASPECT**
押すと、4:3 から 16:9 に画像の縦横比を切り換えます。

❾ **Keystone + / -**
プロジェクタの傾斜
によって引き起こされる画像の変形を調整します。

❿ **FREEZE**
「FREEZE」を押すとスクリーン画像を一時停止します。もう一度押すと、フリーズ機能 を取り消します。

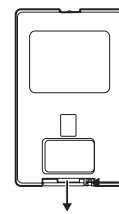
電池を交換する

初めて使用する場合：
使用の前に、透明の絶縁テープを引いて、取り外します。

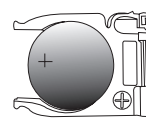


電池交換の場合：

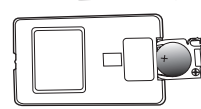
1. キャッチを左に押し、電池ホルダーから取り外します。



2. 古いリチウムコイン型電池を取り外し、新しい電池 (CR2025) を 1 つ取り付けます。必ず「+」のマークがある側を上に向けてください。



3. 電池ホルダーをカチッと言うまでリモートコントロールユニットに押し込み、元通りにします。



警告

- 電池を正しくないタイプのものと交換した場合、爆発する恐れがあります。
- 使用済み電池は指示に従って処分してください。
- 電池を取り付ける際、必ずプラスおよびマイナス端子を正しい方向に向けてください。

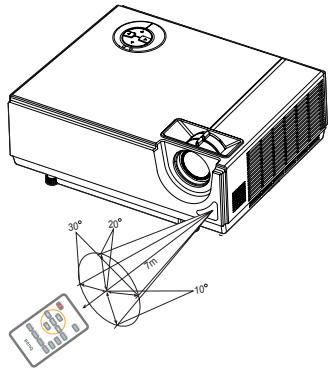
注意

- *子供の手が届く範囲に電池を保管しないでください。*
- *電池を再充電したり、または火気あるいは水に接触させないでください。*
- *使用済み電池は家庭廃棄物と共に処分しないでください。使用済み電池は、居住地域の地方条例に従って 処分してください。*
- *不当に電池を交換した場合、爆発する危険性があります。メカー推奨の同じタイプにのみ交換してください。*
- *電池は火気または水の中あるいは近くに置かず、日の当たらない、涼しく乾燥した場所に保管してください。*
- *電池に液漏れの疑いがある場合は、漏れを拭き取ってから新しい電池に交換してください。漏れた液体が身体あるいは衣服に付着した場合は、すぐに水でよく洗い流してください。*

リモートコントロールの操作

赤外線リモートセンサにリモートコントロールを向け、ボタンを押します。

■ 前面からプロジェクタを操作する



注意

- *リモートセンサに照射する螢光灯など、日光やその他の強い光がある場合、リモートコントロールは作動しないことがあります。*
- *リモートコントロールは、リモートセンサが目に見える位置から操作してください。*
- *リモートコントロールを落としたり、衝撃を加えないでください。*
- *過度に高い温度または湿度の場所にリモートコントロールを保管しないでください。*
- *リモートコントロールを濡らしたり、または濡れたものをその上に置かないでください。*
- *リモートコントロールを分解しないでください。*

インストール

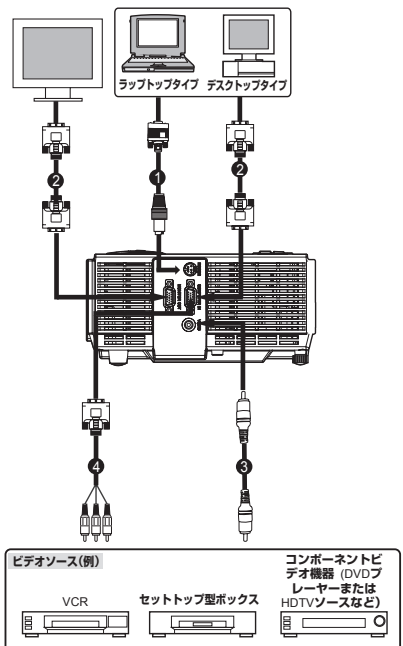
プロジェクタを接続する

❶ RS-232 ケーブル

❷ VGA ケーブル (D- サブから D- サブ)

❸ コンポジットビデオケーブル

❹ VGA(D サブ) ～ HDTV(RCA) ケーブル



注意

- *ケーブルを接続する際、プロジェクタと外部機器両方の電源コードを AC コンセントから切断する必要があります。*
- *上の図は接続の一例です。これは、これらの装置をすべて接続、または同時に接続しなければならないことを意味するものではありません。*
- *プロジェクタ付属のケーブルは上記イラストとは異なることがあります。製品に含まれるケーブルは実際の出荷配送に基づきます。*

プロジェクタの電源をオン / オフする

プロジェクタの電源をオンにする場合 :

1. プロジェクタのレンズキャップを取り外します。
2. AC 電源コードと周囲のシグナルケーブルの接続を完了します。
3. コントロールパネルの ⏻ ボタンまたはリモートコントロールの**電源**ボタンを押すと、プロジェクタの電源が入ります。
   プロジェクタが暖まるまでおよそ 1 分かかります。
4. ソース (コンピュータ、ノートブック、DVD など) の電源を入れます。プロジェクタが自動的に使用するソースを検出します。
   - ■ 同時に複数のソースをプロジェクタに接続する場合は、コントロールパネルの左ボタンかまたはリモートコントロールのソースボタンを押します。

警告

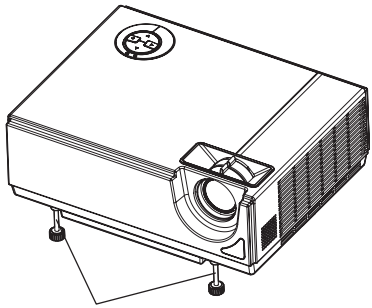
- ■ 電源を入れる前に、まずレンズキャップを取り外してください。
- ■ ランプ点灯中は決してレンズをのぞき込まないでください。レンズをのぞき込んだ場合、目を傷つけることがあります。
- ■ 本製品の焦点は高温を凝縮します。可能な火災の危険を避けるため、近くには何も置かないでください。

プロジェクタの電源をオン / オフするには :

1. コントロールパネルの ⏻ ボタンかまたはリモートコントロールの**電源**ボタンを押すと、プロジェクタのランプが切れます。「電源 OFF?」のメッセージが表示されます。「電源をもう一度押してください」というメッセージがスクリーンに現れます。
2. コントロールパネルの ⏻ ボタンかまたはリモートコントロールの**電源**ボタンを押して確定します。
   - ■ 冷却ファンは、冷却周期の間作動し続けます。
   - ■ LED ランプが点滅を始めると、プロジェクタはスタンバイモードになります。
   - ■ プロジェクタの電源を再度入れ直す場合、プロジェクタが冷却周期を完了し、スタンバイモードになるまで待つ必要があります。スタンバイモードになると、コントロールパネルの ⏻ ボタンかまたはリモートコントロールの**電源**ボタンを押すだけでプロジェクタは再起動します。
3. 電気コンセントおよびプロジェクタから AC 電源コードを切断します。
4. 電源を切った後、すぐにプロジェクタの電源を入れないでください。

プロジェクタを調整する

プロジェクタの高さを調整する



傾斜調整脚

プロジェクタには、画像の高さを調整するため 2 種類の傾斜調整脚が備えつけられています。
スクリーンの画像を水平にするため、傾斜調整脚を回して高さを微調整します。

注意

■ *プロジェクタの損傷を避けるため、プロジェクタをキャリングケースに入れる前に傾斜調整脚を完全に引っ込めてください。*

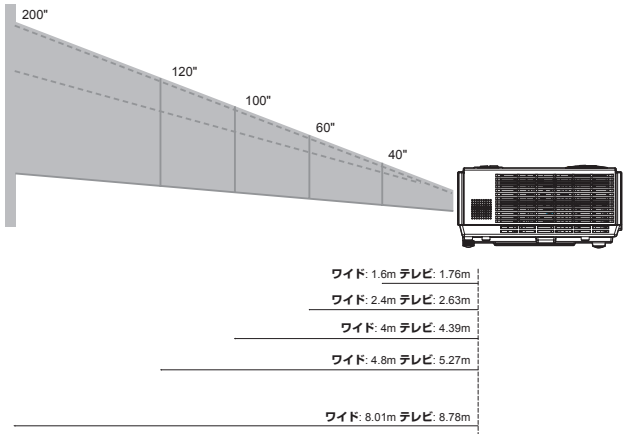
プロジェクタのズームとフォーカスを調整する



1. フォーカスリングを回転させて画像の焦点を合わせます。焦点を合わせる際は、静止画像で行うようお勧めします。
2. ズームリングをスライドさせることで、画像を調整します。

映像画像サイズを調整する

以下のイラストと表を参照して、画面サイズと映写距離を測定してください。



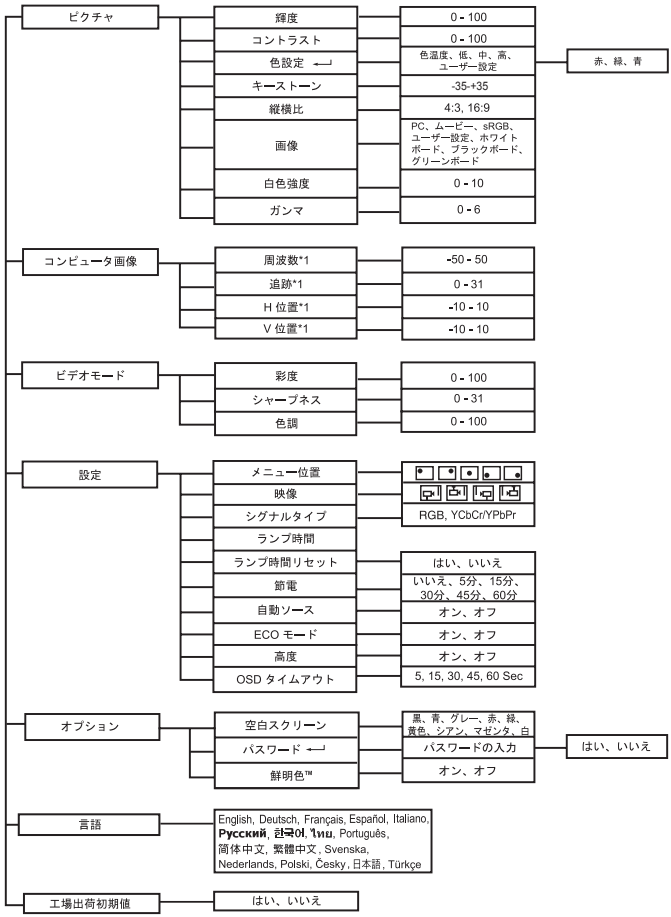
スクリーンサイズ対角（インチ）	4 : 3 スクリーン			
	ワイド		テレビ	
	映像距離		映像距離	
	m	インチ	m	インチ
40	1.60	63.04	1.76	69.12
50	2.00	78.80	2.19	86.40
60	2.40	94.56	2.63	103.68
70	2.80	110.32	3.07	120.96
80	3.20	126.08	3.51	138.24
90	3.60	141.84	3.95	155.52
100	4.00	157.60	4.39	172.80
120	4.80	189.12	5.27	207.36
150	6.00	236.40	6.58	259.20
200	8.01	315.20	8.78	345.60
250	10.01	394.00	10.97	432.00
300	12.01	472.80	13.17	518.40

注意

- *プロジェクタは水平に置いてください。水平でない位置では、熱が発生しプロジェクタに損傷をもたらします。*
- *プロジェクタ側面には 30cm 以上の空間を保持してください。*
- *煙の立ち込める環境でプロジェクタを使用しないでください。致命的な部品に煙が残留し、プロジェクタまたはその性能に損害を与えます*
- *天井から吊り下げるなど、特別な設置に関しては代理店にご相談ください。*

メニュー操作

プロジェクタには、画像の調整およびさまざまな設定を変更するため、多言語のオンスクリーンディスプレイメニューがあります。



*1 調整範囲と工場出荷初期設定はシグナルタイプによって異なります。

操作方法

1. **MENU** ボタンを押して OSD メニューを開きます。
2. OSD が表示されたら、▲ / ▼ を使用してメインメニューのいずれかの機能を選択します。
3. 必要なメイン **MENU** 機能を選択した後、► を押して機能設定するサブメニューに進みます。
4. 設定の調整は ◄ / ► で行います。
5. **MENU** ボタンを押すと、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. OSD を終了するには、もう一度 **MENU** ボタンを押します。OSD メニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。

ピクチャ (コンピュータ / ビデオモード)

輝度

画像を明るく、または暗くします。

コントラスト

明るい部分と暗い部分の差を設定します。

色設定

色温度を調整します。温度が高くなればなるほど、スクリーンはより寒冷色で見え、温度が低くなればなるほど、スクリーンは温暖色に見えます。「ユーザー」を選択した場合、3 色 (赤、緑、青) の強度を変えることでユーザー色温度をカスタマイズできます。

キーストーン

キーストーンの歪みを修正します

縦横比

ピクチャをスクリーンに合わせる方法を選択します :

- 4:3 : 入力ソースが映写スクリーンに合うよう拡縮されます。
- 16:9 : 入力ソースが映写スクリーンの幅に合うよう拡縮されます。

画像

さまざまな種類の画像のため最適化された、多くの工場プリセットがあります。

- PC : コンピュータまたはノートブック用です。
- 映画 : ホームシアター用です。
- sRGB : PC 標準色用です
- ユーザー : ユーザーの設定を記憶します。
- ホワイトボード : 白い映像スクリーンタイプ用です。
- ブラックボード : 黒い映像スクリーンタイプ用です。
- グリーンボード : 緑の映像スクリーンタイプ用です。

白色強度

白色部分の輝度を増加させます。

ガンマ

暗い風景の表示を効果的にします。ガンマ値が大きくなればなるほど、暗い風景がより明るく見えるようになります。

コンピュータ画像 (コンピュータモード)

周波数
コンピュータに比例してプロジェクタのタイミングを調整します。

追跡
コンピュータに比例してプロジェクタの位相を調整します。

H 位置 (水平位置)
投射エリア内で、画像を左右に調整します。

V 位置 (垂直位置)
投射エリア内で、画像を上下に調整します。

ビデオ画像 (ビデオモード)

飽和度
ビデオ画像を白黒から完全飽和色まで調整します。

シャープネス
画像を鮮明にするか、またはぼかします。

色調
赤または緑に色を移行させます。

設定 (コンピュータ / ビデオモード)

メニュー位置
表示スクリーン上のメニュー位置を選択します。

映像
ピクチャをプロジェクタの定位に合うよう調整します:スクリーンを直立または逆さ、前面または背面にします。それに従って、画像を反転、または逆さまにします。

シグナルタイプ
映写したいコンピュータ In 端末に対するソースを指定します。

- RGB: VGA シグナル用
- YCbCr/YPbPr: コンポーネント I、P シグナル用

ランプ時間
ランプの経過稼働時間を表示します (時間単位)。

ランプ時間リセット
ランプ時間を 0 時間までリセットします。

節電
特定時間の間、いずれの操作も実行されない場合、プロジェクタの電源が自動的に切れます。

自動ソース
すべての入力ソースを自動的にスキャンします。
エコモード
電力消費量を減らし、ランプ寿命を延ばすよう映写用電球の光熱出力を低下させます。
高度
プロジェクタを冷却する適切な高度を達成するためファンを全速力で絶え間なく作動させます。
OSD タイムアウト
OSD メニュー表示の持続時間のカウントを開始します（アイドル時、秒単位)。

オプション (コンピュータ / ビデオモード)
空白スクリーン
スクリーンを一時的に空白にします。またこの機能がアクティブの時にスクリーン色を選択します。
パスワード
パスワードを設定、または変更します。パスワード機能が追加されると、プロジェクタの電源を入れる際、画像の映像にあらかじめ設定したパスワードの入力が必要になります。
鮮明色™
鮮やかな写実的な画像に、強調した色飽和を送信する色スペクトルを産生します。ほとんどのビデオソースをオフにし、ほとんどのコンピュータソースをオンにするよう推奨します。

言語 (コンピュータ / ビデオモード)
スクリーンのメニューで使用される言語を選択します。

工場出荷初期値 (コンピュータ / ビデオモード)
工場出荷初期値に設定を修復します。

メンテナンス

プロジェクタは適切なメンテナンスを必要とします。ほこり、土または汚れを映写し、画質を減少させることがないよう、レンズは清潔に保つ必要があります。他の部品で交換が必要な場合は、販売店または資格を持ったサービススタッフまでご連絡ください。プロジェクタのすべての部品を掃除する際は、必ず最初にプロジェクタの電源を切り、コンセントを抜いてください。

警告

プロジェクタのいずれのカバーも決して開けないでください。プロジェクタ内部の危険な電気電圧は深刻な傷害を引き起こすことがあります。本製品を自身で修理しようとしないでください。すべての整備点検については、資格を持ったサービススタッフまでお問い合わせください。

レンズのクリーニング

レンズはレンズ用クリーニングペーパーで優しく拭いてください。レンズを手で触らないでください。

プロジェクタ・ハウジングのクリーニング

柔らかい布で優しく拭いてください。土や汚れを簡単に除去することができない場合、水、または水と中性洗剤で湿らせた柔らかな布を使用してから、柔らかい、乾いた布で拭き取ってください。

注意

- *メンテナンス作業を開始する前にプロジェクタの電源を切り、コンセントから AC 電源コードを取り外してください。*
- *クリーニング前にレンズが冷却された状態にあることを確認してください。*
- *洗剤、または上記で述べられたもの以外の化学物質は使用しないでください。ベンゼンあるいはシンナーを使用しないでください。*
- *化学品スプレー剤は使用しないでください。*
- *柔らかな布地またはレンズ用ペーパーのみ使用してください。*

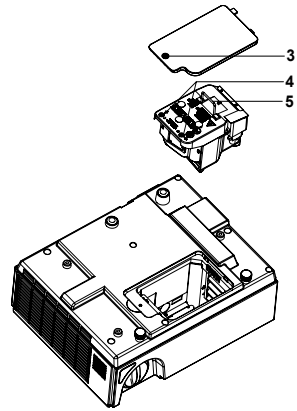
ランプを交換する

プロジェクタの作動時間が経過するに従って、映写用電球の明るさは徐々に減少し、ランプは破損しやすくなります。警告メッセージが表示された場合、ランプの交換をお勧めします。自身でランプを交換しようとしないでください。交換には、資格を持ったサービススタッフまでご連絡ください。



- *プロジェクタの電源を切った直後のランプは非常に高い熱を帯びています。ランプに触れた場合、指をやけどする恐れがあります。ランプ交換には、ランプが冷却されるまで少なくとも 45 分間待ってください。*
- *いかなる場合でもランプのガラスには触らないでください。ランプは、ランプガラスへの接触を含む不適当な取扱いにより爆発することがあります。*
- *ランプの寿命は、それぞれのランプで使用環境に従って異なります。それぞれのランプに対し、同じ寿命はまったく保証できません。ランプの中には、故障したり、他の同じランプより短い期間で寿命を終えるものがあります。*
- *振動、衝撃、あるいは寿命が残り少なくなり、使用時間経過によって老化した結果、ランプは爆発することがあります。プロジェクタおよびランプが使用される環境あるいは状態に従って爆発の危険性は異なります。*
- *ランプを修理または取り外す際は、保護手袋および保護眼鏡を着用してください。*
- *電源のオン・オフ周期が短いほど、ランプに損傷を与え、ランプ寿命を縮めることになります。プロジェクタの電源を入れた後は、電源を切るまで少なくとも 5 分間待ってください。*
- *紙、布、またはその他可燃物の近くでランプを操作したり、またはそのような材料でランプを覆ったりしないでください。*
- *シンナーなどの可燃性物質を含む大気中でランプを操作しないでください。*
- *酸素大気中(空気中)でランプを操作する際は、その周辺または部屋の換気を十分に行ってください。オゾンを吸入した場合、頭痛、吐き気、めまい、およびその他の兆候を引き起こす場合があります。*
- *ランプには無機質の水銀が含まれます。ランプが割れると、ランプ内部の水銀が空気中にさらされることになります。ランプ操作中にランプが粉々になった場合、すぐにその区域を離れ、水銀蒸気の吸入を避けるために少なくとも 30 分間、その区域の換気を行ってください。換気を行わない場合、ユーザーの健康に害を及ぼすことがあります。*

1. プロジェクタの電源を切ります。
2. 電源コードのプラグを抜きます。
   - プロジェクタが天井マウントに設置されている場合は、マウントから取り外します。保護シート (布) をプロジェクタの下に敷きます。ランプカバーに手が届くようプロジェクタをひっくり返します。
3. ランプカバーのねじを緩めて、カバーを取り外します。
4. ランプモジュールから 2 つのねじを緩めます。
5. ハンドルを引き上げてから、ハンドルでランプユニットを引き抜きます。
6. 新しいランプモジュールをプロジェクタに挿入し、ねじを締め付けます。
7. ランプカバーを交換し、ねじを締め付けます。



8. プロジェクタの電源を入れます。ランプが暖機時間を過ぎても点灯しない場合、ランプを再度挿入し直してみてください。
9. ランプ時間をリセットします。設定 (コンピュータ / ビデオモード) メニューを参照してください。

注意

- *使用済みランプは、居住地域の地方条例に従って処分してください。*
- *ねじが適切に締め付けられていることを確認してください。完全に締め付けられていないねじは傷害あるいは事故をもたらすことがあります。*
- *ランプはガラス製のため、ユニットを落下させたり、ガラスを引っかいたりしないでください。*
- *使用済みランプを再利用しないでください。再利用した場合、ランプが爆発することがあります。*
- *ランプを交換する前に、必ずプロジェクタの電源を切り、AC 電源コードのプラグを抜いてください。*
- *ランプカバーを取り外したままでプロジェクタを使用しないでください。*

仕様

表示タイプ	0.55 インチ シングル DLP パネル
解像度 (画素)	SVGA (800 x 600)
輝度	2000 ANSI ルーメン
レンズ	手動ズーム (1.1x)
スクリーンサイズ	30” – 300”
ランプ	180W
入力ソース	15 pin D サブ、コンポジットビデオ、RS232
出力ソース	15 pin D サブ
ビデオ互換	NTSC 3.58、NTSC4.43 PAL-60、M、N SECAM、HDTV (480i/p、576i/p、720p、1080i)
スキャン周波数 水平周波数 垂直周波数	 31 - 79 KHz 50 - 85 Hz
操作	環境 : 温度 :5^{o}C ～ 35^{o}C 湿度 :30%-80% 保管 : 温度 :-20^{o}C ～ 60^{o}C 湿度 :30%-85%
電力要件	AC 100 - 240 V、50 - 60 Hz、2.5A
電力消費	240 W
寸法 (W x D x H)	274 x 216 x 105 mm
重量	2.4 kg (5.3lb)

注意 : 設計および仕様は予告なく 変更することがあります。

付録

LED インジケータメッセージ

LED ランプ	温度 LED	電源 LED	意味
オフ	オフ	100% 青の点滅	スタンバイモード
オフ	オフ	青の点灯	プロジェクタが良好な状態にあります。電源スイッチが押された時は、輝度 100% です。30 秒後、輝度が 20% に変わります。
赤の点灯	赤の点灯	20% 青の点灯	プロジェクタが終了し、ファンがシャットダウンのためランプを冷却しています。
赤の点灯	赤の点灯	100% 青の点灯	ランプの寿命に近付きつつあり、まもなく交換が必要です。
赤の点灯	赤の点滅	20% 青の点灯	ファンが故障しています。
赤の点滅	オフ	100% 青の点灯	温度が高すぎます。ランプの電源が切れます。ファンがランプを冷却しています。
赤の点灯	赤の点灯	オフ	ランプの始動に失敗しました。

互換モード

コンピュータ：

互換	解像度	H 同期 [KHz]	V 同期 [Hz]
VGA	640 x 480	31.5	59.9
		37.9	72.8
		37.5	75.0
		43.3	85.0
SVGA	800 x 600	35.2	56.3
		37.9	60.3
		48.1	72.2
		46.9	75.0
		53.7	85.1
XGA	1024 x 768	48.4	60.0
		56.5	70.1
		60.0	75.0
		68.7	85.0
SXGA	1152 x 864	67.5	75.0
	1280 x 960	60.0	60.0
	1280 x 1024	64.0	60.0

ビデオ：

シグナル	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.8	60
480p	31.5	60
576i	15.6	50
576p	31.3	50
720p	45.0	60
720p	37.5	50
1080i	33.8	60
1080i	28.1	50

トラブルシューティング

プロジェクタを修理に出す前に、以下に記載された兆候と手順を参照してください。問題が持続する場合、現地の再販業者またはサービスセンターまでご連絡ください。また、「LED インジケータメッセージ」も参照してください。

起動に関する問題

ランプがまったく点かない場合 :

- 電源コードがしっかりプロジェクタに接続されており、もう一方の端が電力のあるコンセントに差し込まれていることを確認します。
- もう一度電源スイッチを押します。
- 電源コードのプラグを抜き、しばらく待ってからプラグを差し込み、もう一度電源スイッチを押します。

画像に関する問題

ソースの検索が表示される場合 :

- コントロールパネルの **SOURCE** ボタンかまたはリモートコントロールの **SOURCE** ボタンを 1 回以上押して、別のアクティブな入力ソースを選択します。
- 外部ソースの電源がオンで、しっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータ接続の場合、ノートパソコンの外部ビデオポートの電源が入っていることを確認します。コンピュータのマニュアルを参照してください。

画像の焦点が合っていない場合 :

- レンズカバーが取り外されていることを確認します。
- スクリーンでメニューが表示されている間に、焦点リングを調整します。(画像サイズが変わることはありません。変わる場合は、焦点ではなくズームを調整していることになります。)
- 映写レンズをチェックし、クリーニングが必要かどうかを確認します。

コンピュータ接続で画像がちらつく、または不安定な場合 :

- コントロールパネルの **Resync** ボタンかまたは、リモートコントロールの **RESYNC** ボタンを押します。
- **MENU** ボタンを押して、***コンピュータ画像*** に進み、***周波数*** または***追跡*** を調整します。

リモートコントロールに関する問題

リモートコントロールが作動しない場合 :

- プロジェクタ前面のリモートコントロール受信機を遮るものがないことを確認します。有効距離内でリモートコントロールを使用します。
- スクリーン、またはプロジェクタ前面のリモートコントロールに向けます。
- リモートコントロールを、プロジェクタの側面ではなく、前面に直接対するように移動させます。